

# 老人クラブ活動の活性化について

静岡文化芸術大学 デザイン学部 小浜研究室

指導教員：教授 小浜 朋子

参加学生：毛利 陽香、飯塚 ゆりの、戸田 西香

## 1 要約

本研究は、より多くの高齢者が参加したくなる「シニアコミュニティが活性化する場・プログラム」を具現化することを目的とし、シニアクラブを中心とした地域コミュニティの現状と課題を明らかにするものである。65歳以上の高齢者を対象に、アンケート調査（約300名）と段階的なヒアリング調査を実施し、未加入者・加入者・地域リーダー・県外事例など、多様な立場から意識や実態を収集した。

調査の結果、シニアクラブ活性化に向けた主要な課題として、①メンバーが集まらない、②役員を担う人材が不足している、③魅力ある活動の企画・継続が難しい、の3点が明らかになった。背景には、働く期間の長期化による入会時期の遅れ、情報不足、コミュニティの多様化、役員の高齢化、活動資源の不足などがある。一方で、広報誌の工夫や地域組織との連携、専門性をもつ人材の参画、学びの機会の提供など、改善につながる具体的なヒントも得られた。

今後は、収集したデータのさらなる分析を進め、紀要として発信するとともに、現場リサーチを継続し、より実践的な提案へと発展させる予定である。調査に協力した地域からは、実態把握に役立ったとの評価が寄せられており、今後の地域連携や施策検討への活用が期待される。

## 2 研究の目的

より多くの高齢者が参加したくなる「シニアコミュニティが活性化する場・プログラム」を具現化するために、課題を整理し、具体的な事例を基に提案する。

## 3 研究の内容

高齢者（65歳以上）の方を対象に、アンケート調査とヒアリング調査を段階的に行い、「シニアクラブ」に入会しない方々の意識、「シニアクラブ」を活用している方々の意識、「シニアクラブ」をはじめとする「コミュニティ（自治会も含む）」でリーダー的な役割をする人の見解、県外の地域での事例などをお聞きすることで、「シニアクラブ」のこれからに向けての課題を整理し、提案を構築する。

### 〔Step1〕 「シニアコミュニティ」の活動実態の把握のアンケート調査（9～1月）

シニアクラブに入っている方、入っていない方の双方の意識・実態が把握できるような実施場所を選び、アンケート（30問程度）を作成し、実施。可能な方には短時間のヒアリングも行った。

- ①地域イベント「見付宿たのしい文化展（磐田市）」の参加者（52名）
- ②シニアクラブの運営が比較的順調な「富士見町自治会」の方々（32名）
- ③生涯学習センター、みのり大学利用者（静岡市長田地区）の方々（約200名）



25/10/18-19 磐田市見付宿文化展 アンケート調査(52名)



25/11/23 磐田市富士見町自治会 アンケート調査(32名)

## 〔Step2〕 「シニアコミュニティ」のリーダー的存在の方へヒアリング（11月～1月）

- ①磐田市 シニアクラブ 正副リーダーの方々（12名）
- ②浜松市入野地区 シニアクラブ会長経験者（2名）
- ③生涯学習センター シニアの学びの場「みのり大学」を運営するセンター長（1名）
- ④横浜市青葉区 シニアの地域活動を推進、実践する当事者・研究者（2名）
- ⑤東京都墨田区 シニアクラブのリーダー経験者 及び 会員（12名）



26/1/19 東京都墨田区 シニア活動リーダーヒアリング(12名)



26/1/7 磐田市シニアクラブリーダー ヒアリング(11名)

## 〔Step3〕 調査結果の分析と考察

- ・ Step 1 の①②のアンケートの集計結果を提示し、Step 2 の①②③の方々に意見をいただく。
- ・ 都市部の実態も参考にし、東京・横浜での調査結果も考察に加える。

## 4 研究の成果

### （1）当初の計画

- ①高齢者の方も親しめる浜松市科学館の展示プログラム及び館内レイアウトの企画
- ②地域イベントを活用した老人クラブ活動の可能性の検討（磐田市）

### （2）実際の内容

#### B 一部修正

②のアンケートの実施を磐田市で進める中で手ごたえが大きくなり、静岡市（長田地区）の協力も得られ、ボリュームが大きくなっていった一方で、①の制作を行う予定の学生が、本研究を遂行できない状況となったため割愛した。

### （3）実績・成果と課題

65歳以上の高齢者、「シニアコミュニティ」でリーダー的な役割を経験している人を対象に段階的な調査を行ったことで、「シニアクラブ」に入会しない方々の意識、「シニアクラブ」を活用している方々のモチベーションなどを、把握できた。

アンケートは約300サンプル収集し、分析した（現段階では100サンプルのみ分析）。その結果を基に、シニアクラブ活性化に向けての大きな課題3点とその背景、解決案を下記にまとめる。（添付グラフ参照）

#### 《課題1》「シニアクラブ」のメンバーが集まらない

現状：60歳定年の時代とは違い、今は、70歳まで働く時代。シニアクラブで活動をスタートできる年齢が約10年遅れている。その結果、メンバーは高齢化し、活動メンバーの平均年齢が80歳を超えているコミュニティがほとんどであった。今回の調査でも、70歳未満で入会している人は少ない。

未加入者は、シニアクラブの存在がわからず、情報も少ない。しかも、シニアクラブ以外のコミュニティも多くある。未加入者は、趣味のサークルなどには一定数参加していることもうかがえる。高齢者も増えているが、受け皿も多様化しているのが現状だ。入会のきっかけをみると、周りの人に誘われたからというものが多い。70歳を超えて時間ができ、地域とのつながりを少しはもちたいと思うときに、声かけできる環境が必要である。

▷ 提案◁ 今回のヒアリングできかけたアクションとして、88歳で自治会からお祝いが出るので、それを機会に全員加入、広報誌の配布（うまく運営できているところには必ず手作りの広報誌があった。また、単にポストに入れるだけでなく、名前を書くことで、意識してもらえらるようになったという報告もあった。）などは、効果的と思われる。65歳になったら全員加入という時代もあったが、今は、個人情報関係でトラブルになる可能性もあり、活動できないまま加入することもあまりいい環境ではないようだ。

《課題2》「シニアクラブ」の役員をしてくれる人がいない

課題1でのべた高齢化に伴い、役員も高齢化し、若い世代（といっても60代）の会員がいないため、引継ぎができない。役員として有望な方が退職、自治会の役を降りた時などのタイミングにお願いすることが多く、それが現実的で安定しているやり方ようだ。

▷ 提案◁ 東京のあるコミュニティでは、60代の会員が入ったことで、様々なことがスムーズにいつている、また、クラブの中に、医療関係者をいれることで、安心感が生まれるという報告も聞かれた。組織の中で必要な役割を明確化して、その役割を担っていただける専門性を持った方を尊重して、地域コミュニティを運営していという形を作るだけでも、風向きは変わるのではないだろうか。「高齢者になっても、人の役に立ちたい」という思いはあると、いたるところで聞かれる言葉だった。

生涯学習センター（長田地区）は、みのり大学を運営しながら、学びに来る高齢者の方を見守っている。役員の方が、地域のコミュニティ運営をしている組織とうまく連携することで、負担も軽く、会員の増加にもつながる可能性を感じる。すでに、社会福祉協議会や様々な組織と連携しているであろうが、地域によって、人が集まる組織が異なることも実感した。その土地の習慣、その時の担当者の意向などにあわせて、頼れる場所をいくつかもって、その時々でうまく回しやすい状況を臨機応変にうごかせるような、フレキシビリティのある関係性を作ることを提案したい。

《課題3》「シニアクラブ」の魅力ある活動の実施

パワー、財源が限られた中で、活動を維持していくことも大きな課題だととらえた。しかし、現在行っている、健康体操、輪投げ、カラオケなど、参加者は、それなりに満足している。一人ではできない、健康にかかわることは、シニアクラブに期待されている。あるコミュニティでは、散策ツアーを企画し、掲示板に貼っていると、他の地域からも参加されるそうだ。高齢者自身が企画するので、無理なく移動できることが好評。

さらに、「学ぶ」という機会を求めている人が多いことも確認できた。特に男性は、おしゃべりとかエンターテイメントよりも、生涯学びたいという欲求があるというコメントもあった。生涯学習センターが活性化しているのも、そういった背景があるのだろう。今回のアンケート調査、ヒアリングの機会も、はじめは警戒されたが、実践的な学びの場として、喜ばれる方も多かった。

#### (4) 今後の改善点や対策

行った調査をまだ十分に分析できていないところもあるので、さらにアンケートやヒアリングの内容を丁寧に分析し、紀要にまとめ発信し、さらに、シニアコミュニティの現場のResearchを行って、より具体的な提案を行いたい。

### 5 課題提出者・地域への提言

課題解決の提言は、これまで書いてきた通りある。

アンケート結果を調査報告書にまとめて提出させていただくので、機会があれば、その結果を踏まえて、関連の部署と、ディスカッションして、さらに具体的な提案につなげていければと考えている。

### 6 課題提出者・地域からの評価

磐田市のシニアクラブのリーダーの方々からは、実態を把握できて勉強になった、他の団体との連携を考えたい、などのコメントをいただいた。